

研究課題 (テーマ)	運動学的視点を備えたフットケア看護実践評価に関する研究		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部看護学科	助教	濱野 初恵
	看護学部看護学科	教授	片田 裕子
	工学部教養センター	講師	上村 一貴
	医療法人松徳会 花の丘病院	理学療法士	森 優太
	東北大学	助教	高田 望
研究結果の概要			
<p>【背景・目的】</p> <p>糖尿病患者の下肢切断は患者の生命予後や QOL にも影響を及ぼすことから、発症予防やその治療が喫緊の課題となっている。わが国では、2008 年の糖尿病合併症管理料算定を契機に、看護師を主導としたフットケア外来での患者介入が中心となっていることから、看護師のフットケアレベルの向上が極めて重要である。</p> <p>本研究ではフットケアを実践する看護師に必要とされる看護実践能力を明らかにし、評価指標を作成することを目的に調査を実施した。</p> <p>【研究方法】</p> <p>本研究は、「糖尿病合併症管理料」を算定している医療機関に所属し、「糖尿病足病変の指導に係る適切な研修」を修了し、糖尿病患者のフットケアに携わる糖尿病看護認定看護師および慢性疾患看護専門看護師を対象に半構成的面接を行った。研究協力者の了承を得て面接内容を録音し、得られたデータは全て匿名化し個人が特定できないよう処理した。</p> <p>本研究は、本学と研究協力施設の倫理審査委員会の承認を受け、実施した。</p> <p>【研究結果】</p> <p>研究対象者は 8 名、糖尿病患者のフットケア経験年数は 9.5 ± 4.7 年であった。</p> <p>「卓越したフットケア実践を行う看護師の看護実践能力」を分析テーマとして分析した結果、運動学的視点に関する内容を含んだ 9 つのカテゴリーと 29 のサブカテゴリーが抽出された。</p> <p>本研究結果より、フットケアを実践する看護師において必要とされる看護実践能力の構成概念が明らかとなった。今後は、本研究にて明らかとなった構成概念を基に、糖尿病患者のフットケアに携わる看護師の実践能力を評価するための指標作成を目指す。</p> <p>本調査において、ご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。</p>			
今後の展開			
本研究の成果については学会発表および論文投稿を予定している。			